

5 作物ごとの作付予定面積等

(単位:ha)

作物等	前年度作付面積等		当年度の作付予定面積等		令和8年度の作付目標面積等	
		うち 二毛作		うち 二毛作		うち 二毛作
主食用米	342		340		318	
備蓄米	0		0		0	
飼料用米	0		0		1	
米粉用米						
新市場開拓用米						
WCS用稲						
加工用米						
麦						
大豆	0.55		0.33		1	
飼料作物	4.02	4.02	4.02		8.5	4.5
・子実用とうもろこし						
そば					0.7	
なたね						
地力増進作物						
高収益作物	2.76	1.89	2.88		7.06	3
・野菜	2.76	1.89	2.33		7	3
・花き・花木			0		0.03	
・果樹			0.17		0.03	
・その他の高収益作物			0.38			
その他						
・〇〇						
畑地化						

6 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	使途名	目標	前年度（実績）	目標値
1	大豆・そば（基幹作）	担い手加算（大豆・そば）	申請面積（ha）	（7年度）0.55ha	（8年度）1.7ha
			反収（そば） （kg/10a）	（7年度）－	（8年度）35kg/10a
			反収（大豆） （kg/10a）	（7年度）30kg/10a	（8年度）70kg/10a
2	飼料作物（基幹作）	担い手加算（飼料作物）	申請面積（ha）	（7年度）4.02ha	（8年度）4.7ha
			反収（t/10a）	（7年度）4.6t/10a	（8年度）4.1t/10a
3	野菜（基幹作）	地産地消野菜作付助成（基幹作）	申請面積	（7年度）2.76ha	（8年度）4.7ha
4	飼料作物（二毛作）	担い手加算（飼料作物・二毛作）	申請面積（ha）	（7年度）4.02ha	（8年度）4.5ha
			反収（t/10a）	（7年度）4.6t/10a	（8年度）4.6t/10a
5	野菜（二毛作）	地産地消野菜作付助成（二毛作）	申請面積	（7年度）1.89ha	（8年度）2.2ha

※ 必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。

※ 目標期間は3年以内としてください。

7 産地交付金の活用方法の概要

都道府県名: 静岡県

協議会名: 小山町農業再生協議会

整理 番号	使 途 ※1	作 期 等 ※2	単 価 (円/10a)	対 象 作 物 ※3	取 組 要 件 等 ※4
1	担い手加算(大豆・そば)	1	2,670	大豆・そば(基幹作)	対象作物1作物あたり1a以上作付けし、作付・収穫・販売
2	担い手加算(飼料作物)	1	4,000	飼料作物(基幹作)	対象作物1作物あたり1a以上作付けし、作付・収穫・自家 利用
3	地産地消野菜作付助成	1	2,670	野菜(基幹作)	対象作物1作物あたり1a以上作付けし、作付・収穫・販売
4	担い手加算(飼料作物・二毛作)	2	2,670	飼料作物(二毛作)	対象作物1作物あたり1a以上作付けし、作付・収穫・自家 利用
5	地産地消野菜作付助成(二毛作)	2	2,670	野菜(二毛作)	対象作物1作物あたり1a以上作付けし、作付・収穫・販売

※1 二毛作及び耕畜連携を対象とする使途は、他の設定と分けて記入し、二毛作の場合は使途の名称に「〇〇〇(二毛作)」、耕畜連携の場合は使途の名称に「〇〇〇(耕畜連携)」と記入してください。

ただし、二毛作及び耕畜連携の支援の範囲は任意に設定することができるものとします。

なお、耕畜連携で二毛作も対象とする場合は、他の設定と分けて記入し、使途の名称に「〇〇〇(耕畜連携・二毛作)」と記入してください。

※2 「作期等」は、基幹作を対象とする使途は「1」、二毛作を対象とする使途は「2」、耕畜連携で基幹作を対象とする使途は「3」、耕畜連携で二毛作を対象とする使途は「4」と記入してください。

※3 産地交付金の活用方法の明細(個票)の対象作物を記載して下さい。対象作物が複数ある場合には別紙を付すことも可能です。

※4 産地交付金の活用方法の明細(個票)の具体的な要件のうち取組要件等を記載してください。取組要件が複数ある場合には、代表的な取組のみの記載でも構いません。

8 産地交付金の活用方法の明細

1. 地域農業再生協議会名

小山町農業再生協議会

2. 活用予定額の総括表

(単位:円)

協議会等名	配分枠 (A+B)			活用予定額
		当初配分 (A)	追加配分 (B)	
小山町農業再生協議会	421,000	421,000		420,591

(注) 追加配分が未定の段階にあつては、該当箇所を空欄により作成することとします。

3. 活用方法

配分枠

421,000円

整理 番号	使 途 ※1	作 期 等 ※2	単価① (円/10a)	面 積 (a単位)※3																所要額 ①×② (円)		
				戦略作物								新市場開拓用米	そば	なたね	地方産産作物	高収益作物					その他	合計 ② ※5
				麦	大豆	飼料作物	米粉用米	飼料用米	WCS用稲	加工用米	野菜					花き・花木	果樹	その他の 高収益作物				
1	担い手加算(大豆・そば)	1	2,670		33															33	8,811	
2	担い手加算(飼料作物)	1	4,000			402														402	160,800	
3	地産地消野菜作付助成	1	2,670											233			17			250	66,750	
4	担い手加算(飼料作物・二毛作)	2	2,670			402														402	107,334	
5	地産地消野菜作付助成(二毛作)	2	2,670												288					288	76,896	
合計(基幹)※4			実面積		33	402									233		17			685	420,591	
合計(二毛作)※4			実面積			402									288					690		

※1 二毛作及び耕畜連携を対象とする使途は、他の設定と分けて記入し、二毛作の場合は使途の名称に「〇〇〇(二毛作)」、耕畜連携の場合は使途の名称に「〇〇〇(耕畜連携)」と記入してください。

ただし、二毛作及び耕畜連携の支援の範囲は任意に設定することができるものとします。

なお、耕畜連携で二毛作も対象とする場合は、他の設定と分けて記入し、使途の名称に「〇〇〇(耕畜連携・二毛作)」と記入してください。

※2 「作期等」は、基幹作を対象とする使途は「1」、二毛作を対象とする使途は「2」、耕畜連携で基幹作を対象とする使途は「3」、耕畜連携で二毛作を対象とする使途は「4」と記入してください。

※3 「面積」は、当初配分により支援を行う使途について記入し、追加配分により支援を行う使途については、追加配分額が未定の段階にあつては空欄としてください。

※4 「合計(基幹)の実面積」は、基幹作を対象とした設定の実面積を記入し、「合計(二毛作)の実面積」は、二毛作を対象とした設定の実面積を記入してください。

また、「合計②」欄は、基幹作、二毛作それぞれの実面積の合計を記入してください。

※5 ②の合計は、各使途の合計面積を記入してください。

※6 所要額欄の二重枠には、所要額の合計を記入してください。

(注) 使途ごとに「産地交付金の活用方法の明細(個票)」を添付してください。

4. 追加配分等を受けた場合の調整方法

①追加配分時に、以下の単価調整係数を用いて一律に交付単価を調整する。

調整後の交付単価＝当初単価×単価調整係数

※単価調整係数＝(配分額)/(当初単価での所要額)

※調整後の交付単価は小数点以下切り捨てとする。

②①の単価調整により、いずれかの整理番号が上限単価を超過する場合は整理番号3及び5の上限単価を10,000円/10aに引き上げ、①の調整を再度行う。

5. 所要額が配分枠を超過した場合の調整方法

交付単価の設定時よりも交付面積が拡大した場合は、交付総額が配分額の範囲内に収まるよう交付単価を減少する。
その際は、次の単価調整係数(小数点第5位以下切り捨て)を用いて、一律に交付単価を減額(小数点以下切り捨て)する。
単価調整係数 ＝ 配分額 / (水田における用途ごとの対象面積×交付単価)の合計。

6. 高収益作物について

注1 産地交付金で支援する作物のうち、高収益作物に該当する作物名(野菜、花き・花木、果樹除く)を記載してください。

注2 収益性のわかるデータを添付してください。

産地交付金の活用方法の明細（個票）

協議会名	小山町農業再生協議会				整理番号	1
使途名	担い手加算(大豆・そば)					
対象作物	大豆・そば（基幹作）					
単 価	2,670円 /10a（2回目の配分額に応じて10,000円/10aを上限として単価を増額調整する）					
課 題	・大豆・そばについては、湿害等の影響を受けやすく、収量・品質が課題となっており、安定した収量・品質を実現する必要がある。関係機関と連携し、研究・調査を通じて、収量・品質の確保を目指すことにより、収益面での向上も期待される。 ・担い手における収量・品質の向上に資する生産技術の定着度が高いので、担い手による作付拡大によって、小山町における対象作物の単収・品質の向上が期待できる。 ・令和7年度、そばについては作付実績がなかったが、大豆については、前年から作付け面積が微増しているものの、鳥獣被害等の影響から収量が減少しており、目標が達成されていない。今後、大豆の面積は担い手を中心とした耕作面積の維持・拡大を目指し、そばについては作付が再開されるよう推進する。また、担い手による農地の集積を進め、作付面積拡大を目標とする。 ・また、収益を確保、向上するため、近年の地域の平均反収（そば：30kg/10a、大豆：65kg/10a）を上回る反収とすることを目標とする。					
目 標			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	申請面積	目標		1.5ha	1.6ha	1.7ha
		実績	0.69ha	0.73	0.55	
	反収（そば）	目標		35kg/10a	35kg/10a	35kg/10a
		実績	（作付けなし）	（作付けなし）	（作付けなし）	
	反収（大豆）	目標		70kg/10a	70kg/10a	70kg/10a
		実績	30kg/10a	30kg/10a	30kg/10a	
内 容	水田における基幹作物（大豆、そば）の生産性の向上を図るため、これからの作付面積に応じて、作付を行った担い手に対して助成を行う。					
具体的要件	○助成対象者 地域計画の担い手リストに記載された農業者又は認定農業者・集落営農組織とする。 ○助成対象農地 小山町水田台帳に登録されている水田のうち、当該年度において、対象作物を通常の栽培方法により作付けしている水田とする。 ただし、当該年度において水稻の作付が行なわれていない水田とする。					
取組の 確認方法	○助成対象者 地域計画の担い手リストや認定農業者リストなどとの照合により確認する。 ○助成対象農地であることの確認 営農計画書、現地確認等により確認する。水稻の作付けが行なわれていないことの確認は営農計画書や共済細目書等により確認する。 ○助成対象作物の作付けが行なわれたことの確認 現地確認による。現地確認の実施時期は対象作物の生育状況や収穫に合わせて適宜行うこととする。 ○助成対象面積の確認 面積確認は、実測又は土地登記簿等公的資料との照合により行なう。 ○その他要件の確認 出荷契約書や販売伝票等の書類により確認する（大豆・そば）					
成果等の 確認方法	○成果の確認方法 令和9年3月までに、営農計画書のとりまとめによる面積データを集計し、出荷及び販売伝票の数量をもとに反収の確認を行う。					
備考	支援年限なし。					

※ 課題や目標の数値については、必要に応じて参考となるデータを添付してください。
 ※ 目標が複数ある場合は、欄を追加して全ての目標について記載してください。

産地交付金の活用方法の明細（個票）

協議会名	小山町農業再生協議会				整理番号	2
使途名	担い手加算（飼料作物）					
対象作物	飼料作物（基幹作）					
単 価	4,000円／10a（2回目の配分額に応じて15,000円／10aを上限として単価を増額調整する）					
課 題	・飼料作物については、収量の確保が課題であり、安定した収量確保を実現する必要がある。 関係機関や種苗メーカーと連携し、収量増加を目指す。また、水田遊休農地等を有効活用し、 農地集積による栽培面積の拡大に取り組む。 ・担い手における収量・品質の向上に資する生産技術の定着度が高いので、担い手による作付 拡大によって、小山町における対象作物の単収・品質の向上が期待できる。					
目 標			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	申請面積（ha）	目標		4.5	4.6	4.7
		実績	4.02	4.02	4.02	
	反収（t/10a）	目標		4.1	4.6	4.6
		実績	4.0	4.6	4.6	
内 容	水田における基幹作物（飼料作物）の生産性の向上を図るため、これからの作付面積に応じ て、作付を行った担い手に対して助成を行う。					
具体的要件	○助成対象者 地域計画の担い手リストに記載された農業者又は認定農業者とする。 ○助成対象農地 小山町水田台帳に登録されている水田のうち、当該年度において、対象作物を通常の栽培方 法により作付けしている水田とする。 ただし、当該年度において水稻の作付が行なわれていない水田とする。 ○助成対象面積 助成対象者が助成対象水田において権原に基づいて対象作物を作付けした面積とする。単位 はaとし、小数点以下は切り捨てるものとする。 ○その他要件 対象作物1作物あたり1a以上作付けし、収穫・自家利用すること。（飼料作物）					
取組の 確認方法	○助成対象者 地域計画の担い手リストや認定農業者リストとの照合により確認する。 ○助成対象農地であることの確認 営農計画書、現地確認等により確認する。水稻の作付けが行なわれていないことの確認は営 農計画書や共済細目書等により確認する。 ○助成対象作物の作付けが行なわれたことの確認 現地確認による。現地確認の実施時期は対象作物の生育状況や収穫に合わせて適宜行うこと とする。 ○助成対象面積の確認 面積確認は、実測又は土地登記簿等公的資料との照合により行なう。 ○その他要件の確認 自家利用計画書及び自家利用実績報告書等の書類により確認する。（飼料作物）					
成果等の 確認方法	○成果の確認方法 令和9年3月までに、営農計画書のとりまとめによる面積データを集計し、自家利用計画書及 び自家利用実績報告書の数量をもとに反収を確認する。					
備考	支援年限なし。					

※ 課題や目標の数値については、必要に応じて参考となるデータを添付してください。

※ 目標が複数ある場合は、欄を追加して全ての目標について記載してください。

産地交付金の活用方法の明細（個票）

協議会名	小山町農業再生協議会			整理番号	3
使途名	地産地消野菜作付助成				
対象作物	野菜（基幹作物）（県設定の３、５の対象となっている野菜）				
単 価	2,670円／10a(2回目の配分額に応じて8,000円／10a(又は10,000円/10a)を上限として単価を増額調整する)				
課 題	管内の野菜の供給量が少ないことが課題となっており、関係機関と連携し、栽培面積の拡大、品質の向上に取り組む。また、生産者の栽培技術・知識の向上を図り、野菜の供給量を増やすとともに、農家所得向上へ繋げる。 令和7年度は転作の拡大が進まなかったため、目標に届かなかったが、直売所や学校給食、ホテル等での野菜の需要は引き続き高いことから、関係機関と連携し、今後も生産面積の拡大や地産地消野菜作付を志向する農家の掘り起こしを継続する。				
目 標	生産面積の増加		令和５年度	令和６年度	令和７年度
	申請面積（ha）	目標		4.5	4.6
		実績	3.73	3.39	2.76
内 容	対象作物を旧御殿場農協管内の農産物直売所等（無人販売所は除く）での販売を目的として作付けした場合、その作付面積に応じて助成する。				
具体的要件	○助成対象者 町内に在住する農業者等 ○助成対象農地 小山町水田台帳に登録されている水田のうち、当該年度において、対象作物を通常の栽培方法により作付けしている水田とする。 ただし、当該年度において水稻の作付が行なわれていない水田とする。 ○助成対象面積 助成対象者が助成対象水田において権原に基づいて対象作物を作付けした面積とする。単位はaとし、小数点以下は切り捨てるものとする。 ○その他要件 当該農業者自ら作業を実施し、農産物直売所（ファーマーズマーケット、道の駅など）や学校給食、ホテルなどへ出荷し、販売すること。				
取組の 確認方法	○助成対象者 営農計画書により確認する。 ○助成対象農地であることの確認 営農計画書、現地確認等により確認する。水稻の作付けが行なわれていないことの確認は営農計画書や共済細目書により確認する。 ○助成対象作物の作付けが行なわれたことの確認 現地確認による。現地確認の実施時期は対象作物の生育状況や収穫に合わせて適宜行うこととする。 ○助成対象面積の確認 面積確認は、実測又は土地登記簿等公的資料との照合により行なう。 ○その他要件の確認 販売伝票等の書類により確認する。				
成果等の 確認方法	○成果の確認方法 令和９年３月までに、営農計画書のとりまとめによる面積データの集計にて確認を行う。				
備考	支援年限なし。				

※ 課題や目標の数値については、必要に応じて参考となるデータを添付してください。

※ 目標が複数ある場合は、欄を追加して全ての目標について記載してください。

産地交付金の活用方法の明細（個票）

協議会名	小山町農業再生協議会				整理番号	4
使途名	担い手加算（飼料作物・二毛作）					
対象作物	飼料作物（二毛作）					
単 価	2,670円/10a（2回目の配分額に応じて10,000円/10aを上限として単価を増額調整する）					
課 題	・飼料作物については、収量の確保が課題であり、安定した収量確保を実現する必要がある。二毛作を実践することにより、単収での収量不足を補い、飼料作物の安定した収量の確保を目指す。また、水田遊休農地等を有効活用し、農地集積による栽培面積の拡大に取り組む。 ・令和7年度は、規模拡大のための農地が見つからなかったため、面積目標を達成できなかった。目標を横ばいとするが、対象となる農家には引き続き農地中間管理機構の活用の継続を勧める。					
目 標			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	申請面積（ha）	目標		4.5	4.5	4.5
		実績	4.02	4.02	4.02	
	反収（t/10a）	目標		4	4.6	4.6
		実績	4	4.6	4.6	
内 容	飼料作物による二毛作を行った場合、二毛作として作付けする対象作物の作付面積に応じて助成する。					
具体的要件	○助成対象者 地域計画の担い手リストに記載された農業者又は認定農業者とする。 ○助成対象農地 小山町水田台帳に登録されている水田のうち、当該年度において、対象作物を通常の栽培方法により作付けしている水田とする。 ただし、当該年度において水稻の作付が行なわれていない水田とする。 また前作にて飼料作物を栽培している水田に限る。 ○助成対象面積 助成対象者が助成対象水田において権原に基づいて対象作物を作付けした面積とする。単位はaとし、小数点以下は切り捨てるものとする。 ○その他要件 対象作物1作物あたり1a以上作付けし、収穫・自家利用すること。（飼料作物）					
取組の 確認方法	○助成対象者 地域計画の担い手リストや認定農業者リストとの照合により確認する。 ○助成対象農地であることの確認 営農計画書、現地確認により確認する。水稻の作付けが行なわれていないことの確認は営農計画書や共済細目書等により確認する。 ○助成対象作物の作付けが行なわれたことの確認 現地確認による。現地確認の実施時期は対象作物の生育状況や収穫に合わせて適宜行うこととする。 ○助成対象面積の確認 面積確認は、実測又は土地登記簿等公的資料との照合により行なう。 ○その他要件の確認 自家利用計画書及び自家利用実績報告書等の書類により確認する。（飼料作物）					
成果等の 確認方法	○成果の確認方法 令和9年3月までに、営農計画書のとりまとめによる面積データを集計し、自家利用計画書及び自家利用実績報告書の数量をもとに反収を確認する。					
備考	支援年限なし。					

※ 課題や目標の数値については、必要に応じて参考となるデータを添付してください。

※ 目標が複数ある場合は、欄を追加して全ての目標について記載してください。

産地交付金の活用方法の明細（個票）

協議会名	小山町農業再生協議会				整理番号	5
使途名	地産地消野菜作付助成（二毛作）					
対象作物	野菜（二毛作）（県設定の４、６の対象となっている野菜）					
単 価	2,670円／10a(2回目の配分額に応じて7,500円／10a(又は10,000円/10a)を上限として単価を増額調整する)					
課 題	管内の野菜の供給量が少ないことが課題となっており、関係機関と連携し、栽培面積の拡大、品質の向上に取り組む。また、生産者の栽培技術・知識の向上を図り、野菜の供給量を増やすとともに、農家所得向上へ繋げる。 野菜等の作付け面積は減少傾向にある。当町の特産品である水かけ菜は水稻の裏作として作付けされるケースが多いため、水かけ菜を始めとした水稻の二毛作も補助の対象とし、農家の掘り起こしを継続する。					
目 標			令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
	申請面積（ha）	目標		2.0	2.1	2.2
		実績	1.88	1.84	1.89	
内 容	対象作物を御殿場農協管内の農産物直売所等（無人販売所は除く）での販売を目的として作付けした場合、その作付面積に応じて助成する。					
具体的要件	○助成対象者 町内に在住する農業者等 ○助成対象農地 小山町水田台帳に登録されている水田のうち、当該年度において、対象作物を水稻の裏作として作付けしている水田とする。 ○助成対象面積 助成対象者が助成対象水田において権原に基づいて対象作物を作付けした面積とする。単位はaとし、小数点以下は切り捨てるものとする。 ○その他要件 当該農業者自ら作業を実施し、農産物直売所(ファーマーズマーケット、道の駅など)や学校給食、ホテルなどへ出荷し、販売すること。					
取組の 確認方法	○助成対象者 営農計画書により確認する。 ○助成対象農地であることの確認 営農計画書、現地確認等により確認する。水稻の作付けが行なわれていないことの確認は営農計画書及び共済細目書により確認する。 ○助成対象作物の作付けが行なわれたことの確認 現地確認による。現地確認の実施時期は対象作物の生育状況や収穫に合わせて適宜行うこととする。 ○助成対象面積の確認 面積確認は、実測又は土地登記簿等公的資料との照合により行なう。 ○その他要件の確認 販売伝票等の書類により確認する。					
成果等の 確認方法	○成果の確認方法 令和９年３月までに、営農計画書のとりまとめによる面積データの集計にて確認を行う。					
備考	支援年限なし。					

※ 課題や目標の数値については、必要に応じて参考となるデータを添付してください。

※ 目標が複数ある場合は、欄を追加して全ての目標について記載してください。